

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】(4～13ページ)に基づいて作成した「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」を示して、申告書の記載手順を説明します。
- 記載手順は、矢印と番号(①～⑦)で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、4ページから15ページをご覧ください。
なお、「確定申告書」の作成に先立って、「山林所得収支内訳書(計算明細書)」(国税庁ホームページからダウンロードできます。)を作成します。

(手書きした部分は、便宜上、青色で表示しています。)

申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 1 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください。
なお、複写式となっている申告書は、2枚目(控用)を取り外して使用しても差し支えありません。
- 2 フリガナは、濁点「」半濁点「」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
【記載例】 縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる
- 3 マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)
1 2 3 4 5 0 0 0 0 0
【記載例】 配 当 ④ 1 2 3 0 0 0 0
給 与 ⑤ 2 3 0 0 0 0 0
- 4 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

記載手順

- ① 「山林所得収支内訳書(計算明細書)」を作成します。
(4～5、14～15ページ参照)
- ② 第一表の収入金額等と所得金額等の箇所を書きます。
(6～7ページ参照)
- ③ 第二表を作成します。
第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。
(第二表の記載例は、8ページを参照してください。)
- ④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。
(9ページ参照)
- ⑤ 第三表の山林の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。
(10～11ページ参照)
- ⑥ 第三表の税金の計算の箇所を書きます。
(12ページ参照)
- ⑦ 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。
(13ページ参照)

申告書B第二表

確定申告書には、毎回、マイナンバー(個人番号)を記入する必要があります。

申告書B第一表

令和03年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

FA2201

令和03年2月16日

令和03年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

現在住居 Y市〇〇町1-10

氏名 大阪 太郎

職業 会社員

世帯主の氏名 大阪太郎

世帯主との続柄 本人

収入金額等

所得金額等

所得から差し引かれる金額

税金の計算

その他

山林所得収支内訳書(計算明細書)

読者住所 Y市〇〇町1-10

氏名(フリガナ) オオサカ タロウ

電話番号(×××) △△△-〇〇〇〇

氏名(フリガナ) 大阪 太郎

申告書第三表(分離課税用)

令和03年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

FA2400

整理番号

特例適用条文

法 30 条

住所 Y市〇〇町1-10

氏名 大阪 太郎

収入金額

所得金額

税金の計算

その他